

様式第9号（第5条関係）

令和 6 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地 笠岡市飛島5923-1

協議会名 飛島自治振興会

協議会長名 会長 山本吉太郎

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）  
変更申請書（兼）実績報告書

令和 5 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 186 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

## 記

- 1 変更交付申請額 1,024,000 円  
(交付金決算額)

〔内訳〕

(単位：円)

交付決定額 (I)	変更交付申請額 (II) (交付金決算額)	返還額 (I) - (II)
1,074,000	1,024,000	50,000

- 2 交付金が減額変更になった理由

行政間連携事業において、当初計画していた活動ができなかった為。

## 【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）活動実績明細書（様式第10号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）収支決算書（様式第11号）
- (3) 支払書類（レシート等）の原本
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金 (運営交付金) 活動実績明細書

協議会名 飛島自治振興会

実施期間		令和 5 年4月1日 から 令和 6 年3月31日 まで	
開催結果	会議の種類	開催結果	
	総会 <small>※または総会に準ずるもの</small>	開催時期: 5 月, 開催形式: 対面	
	その他会議	開催回数: 10 回 会議の種類: 役員会・集会	
活動費の活動結果	活動名	活動実施による成果及び課題	
	島内交通運営事業	成果	島内交通事業が円滑に実施できるように、集落支援員と担当者との調整をおこなえた。
		課題	予算内で事業を運営するための工夫と担当者の確保が課題である。
	デイサービス事業	成果	担当者との連絡調整およびスケジュール管理を実施することで、担当者の配置、利用者の送迎等を円滑にすることができた。
		課題	担当者、参加者の高齢化。参加者の固定化が課題である。
観光PR事業	成果	負担が大きいイベントではなく、道の駅等への納品で安定した収益に繋げることができた。	
	課題	担当者の高齢化により事業の維持が困難となっている。	
鳥獣害対策	成果	定期的な見回りと、猟友会との連携により、害獣駆除に役立った。	
	課題	くくり罠の危険性が心配である。見回りにより捕獲が把握できなかった場合の害獣処分が大変である。	
		具体的な活動内容	
		1日6回の定期船寄港に伴う、島民の送迎と荷物の運搬をおこなう。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者のスケジュール管理</li> <li>・利用者への連絡・送迎</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業人員の確保、連絡調整</li> <li>・納品業務</li> </ul>	
		毎日、午前中に島内のくくり罠の点検を実施する。イノシシ捕獲時は猟友会に連絡し、捕獲サポート、処分に協力する。	

※ 会議の開催結果及び活動費の開催結果の区分欄は、適宜変更して使用すること。

活動名	活動実施による成果及び課題		具体的な活動内容
	成果		
	課題		
	成果		
	課題		
活動費の活動結果	成果		
	課題		
行政間連携事業			
空き家事業	成果	実施なし	
	課題		
行政間連携事業			
	成果		
	課題		

※ 会議の開催結果及び活動費の開催結果の区分欄は、適宜変更して使用すること。

様式第11号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）収支決算書

協議会名 飛島自治振興会

【収入の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金(①+②)	(Ⅰ) 1,074,000	(Ⅱ) 1,074,000	0	
①市交付金	1,024,000	1,024,000	0	
②市交付金加算枠	50,000	50,000	0	
広報活動	0	0	0	広報発行数：年 回 交付金の種類： 交付金
まちづくり計画策定	0	0	0	策定期間：下記リストから選択してください 交付金の種類： 交付金
行政間連携事業	50,000	50,000	0	空き家事業
その他収入	0	2,474	△ 2,474	
自主財源	0	2,474	△ 2,474	
			0	
			0	
			0	
計	1,074,000	1,076,474	△ 2,474	

【支出の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
人件費	800,000	800,000	0	別紙「【運営費】出納簿」のとおり
賃借料	24,000	24,000	0	〃
光熱水費		0	0	〃
運営費	100,000	92,474	7,526	
消耗品費	20,000	13,300	6,700	別紙「【運営費】出納簿」のとおり
食糧費	15,000	0	15,000	〃
印刷製本費	35,000	19,000	16,000	〃
修繕料		0	0	〃
通信運搬費	30,000	60,174	△ 30,174	〃
手数料		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
		0	0	〃
		0	0	〃
活動費	150,000	110,000	40,000	
島内交通運営事業	50,000	54,000	△ 4,000	別紙「【活動費】積算資料①」のとおり
デイサービス事業		0	0	別紙「【活動費】積算資料②」のとおり
観光PR事業	50,000	56,000	△ 6,000	別紙「【活動費】積算資料③」のとおり
鳥獣害対策		0	0	別紙「【活動費】積算資料④」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料⑤」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料⑥」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料⑦」のとおり
行政間連携事業	50,000	0	50,000	
空き家事業	50,000	0	50,000	別紙「【活動費(行政間連携)】積算資料⑩」のとおり
		0	0	別紙「【活動費(行政間連携)】積算資料⑪」のとおり
	0		0	
			0	
計	1,074,000	1,026,474	47,526	決算額のうち市交付金分 (Ⅱ) 1,024,000

市交付金の返還額

(Ⅰ) - (Ⅱ) 50,000 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

# 出 納 簿

交付金区分 運営交付金

活動名 運営費

費目 人件費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	4	30	会長・副会長・会計	人件費	64,000	64,000
2	5	5	31	会長・副会長・会計	人件費	64,000	128,000
3	5	6	30	会長・副会長・会計	人件費	64,000	192,000
4	5	7	31	会長・副会長・会計	人件費	66,000	258,000
5	5	8	31	会長・副会長・会計	人件費	66,000	324,000
6	5	9	30	会長・副会長・会計	人件費	66,000	390,000
7	5	10	31	会長・副会長・会計	人件費	66,000	456,000
8	5	11	30	会長・副会長・会計	人件費	66,000	522,000
9	5	12	31	会長・副会長・会計	人件費	67,000	589,000
10	6	1	31	会長・副会長・会計	人件費	67,000	656,000
11	6	2	29	会長・副会長・会計	人件費	67,000	723,000
12	6	3	29	会長・副会長・会計	人件費	77,000	800,000
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						800,000	

# 出 納 簿

交付金区分 運営交付金

---

活動名 運営費

---

費目 賃借料

---

No. 1

---

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	3	30	一社) 飛島学園	事務所使用料	24,000	24,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						24,000	

# 出 納 簿

交付金区分 運営交付金

活動名 運営費

費目	需用費	消耗品費
----	-----	------

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	12	19	エディオン	プリンター消耗品	7,270	7,270
2	6	3	24	エディオン	プリンター消耗品	6,030	13,300
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						13,300	

# 出 納 簿

交付金区分 運営交付金

活動名 運営費

費目	需用費	印刷製本費
----	-----	-------

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	4	20	飛島学園	10円×2枚×50人	1,000	1,000
2	5	5	3	飛島学園	10円×10枚×50人	5,000	6,000
3	5	5	6	飛島学園	10円×2枚×50人	1,000	7,000
4	5	6	12	飛島学園	10円×2枚×50人	1,000	8,000
5	5	6	29	飛島学園	10円×2枚×50人	1,000	9,000
6	5	7	3	飛島学園	10円×2枚×50人	1,000	10,000
7	5	9	6	飛島公民館	10円×2枚×50人	1,000	11,000
8	5	9	10	飛島公民館	10円×2枚×50人	1,000	12,000
9	5	11	6	飛島公民館	10円×2枚×50人	1,000	13,000
10	5	11	10	飛島公民館	10円×2枚×50人	1,000	14,000
11	5	12	14	飛島公民館	10円×2枚×50人	1,000	15,000
12	5	12	20	飛島学園	10円×2枚×50人	1,000	16,000
13	6	1	11	飛島学園	10円×2枚×50人	1,000	17,000
14	6	2	20	飛島学園	10円×2枚×50人	1,000	18,000
15	6	3	1	飛島学園	10円×2枚×50人	1,000	19,000
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						19,000	



# 出 納 簿

交付金区分 運営交付金

活動名 運営費

費目	役務費	通信運搬費
----	-----	-------

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	4	20	NTT	電話代	4,954	4,954
2	5	5	10	NTT	電話代	5,070	10,024
3	5	6	20	NTT	電話代	4,954	14,978
4	5	7	10	NTT	電話代	5,101	20,079
5	5	8	21	NTT	電話代	4,956	25,035
6	5	9	11	NTT	電話代	5,066	30,101
7	5	10	20	NTT	電話代	4,956	35,057
8	5	11	10	NTT	電話代	5,066	40,123
9	5	12	20	NTT	電話代	4,956	45,079
10	6	1	10	NTT	電話代	5,074	50,153
11	6	2	20	NTT	電話代	4,956	55,109
12	6	3	11	NTT	電話代	5,065	60,174
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						60,174	



















# 自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 1

協議会名	飛島自治振興会
活動名	島内交通運営事業

活動目的	島内交通事業を円滑に実施するために、連絡調整および集落支援員との連携をコーディネートする。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島内交通希望者の利用受付</li> <li>・各担当者への連絡調整</li> <li>・集落支援員との調整</li> </ul>

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
島内交通事業が円滑に実施できるように、集落支援員と担当者との調整をおこなえた。	予算内で事業を運営するための工夫と担当者の確保が課題である。

### 今後の活動の方向性・改善策

担当者の高齢化により、事業の継続が難しくなった場合に、一般社団法人飛島学園として事業を支援していく準備が必要である。

## 自己評価シート

( 令和 5 年度 )

No. 2

協議会名	飛島自治振興会
活動名	デイサービス事業

活動目的	デイサービス事業を円滑に実施するために、担当者との連絡調整およびスケジュール管理を実施する。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者のスケジュール管理</li> <li>・利用者への連絡・送迎</li> </ul>

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> 担当者との連絡調整およびスケジュール管理を実施することで、担当者の配置、利用者の送迎等を円滑にすることができた。	<b>現状と課題</b> 担当者、参加者の高齢化。参加者の固定化が課題である。
--	--

**今後の活動の方向性・改善策**

担当者の高齢化により、事業の継続が難しくなった場合に、一般社団法人飛島学園として事業を支援していく準備が必要である。

# 自己評価シート

( 令和 5 年度 )

No. 3

協議会名	飛島自治振興会
活動名	観光PR事業

活動目的	観光PR事業を推進するために、椿油の収穫、製品化の作業人員の管理および、納品等の業務をおこなう。
活動内容	・作業人員の確保、連絡調整 ・納品業務

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進, 地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
負担が大きいイベントではなく、道の駅等への納品で安定した収益に繋げることができた。	担当者の高齢化により事業の維持が困難となっている。

### 今後の活動の方向性・改善策

担当者の高齢化により、事業の継続が難しくなった場合に、一般社団法人飛島学園として事業を継続していく準備が必要である。

## 自己評価シート

( 令和 5 年度 )

No. 4

協議会名	飛島自治振興会
活動名	鳥獣害対策

活動目的	イノシシ被害を抑えるため、猟友会に協力してくくり罠の見回り・点検を実施する。
活動内容	毎日、午前中に島内のくくり罠の点検を実施する。 イノシシ捕獲時は猟友会に連絡し、捕獲サポート、処分に協力する。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> 定期的な見回りと、猟友会との連携により、害獣駆除に役立った。	<b>現状と課題</b> くくり罠の危険性が心配である。 見回りにより捕獲が把握できなかった場合の害獣処分が大変である。
--	--

**今後の活動の方向性・改善策**

担当者の高齢化により、事業の継続が難しくなった場合に、集落支援員や一般社団法人飛島学園として事業を支援していく準備が必要である。